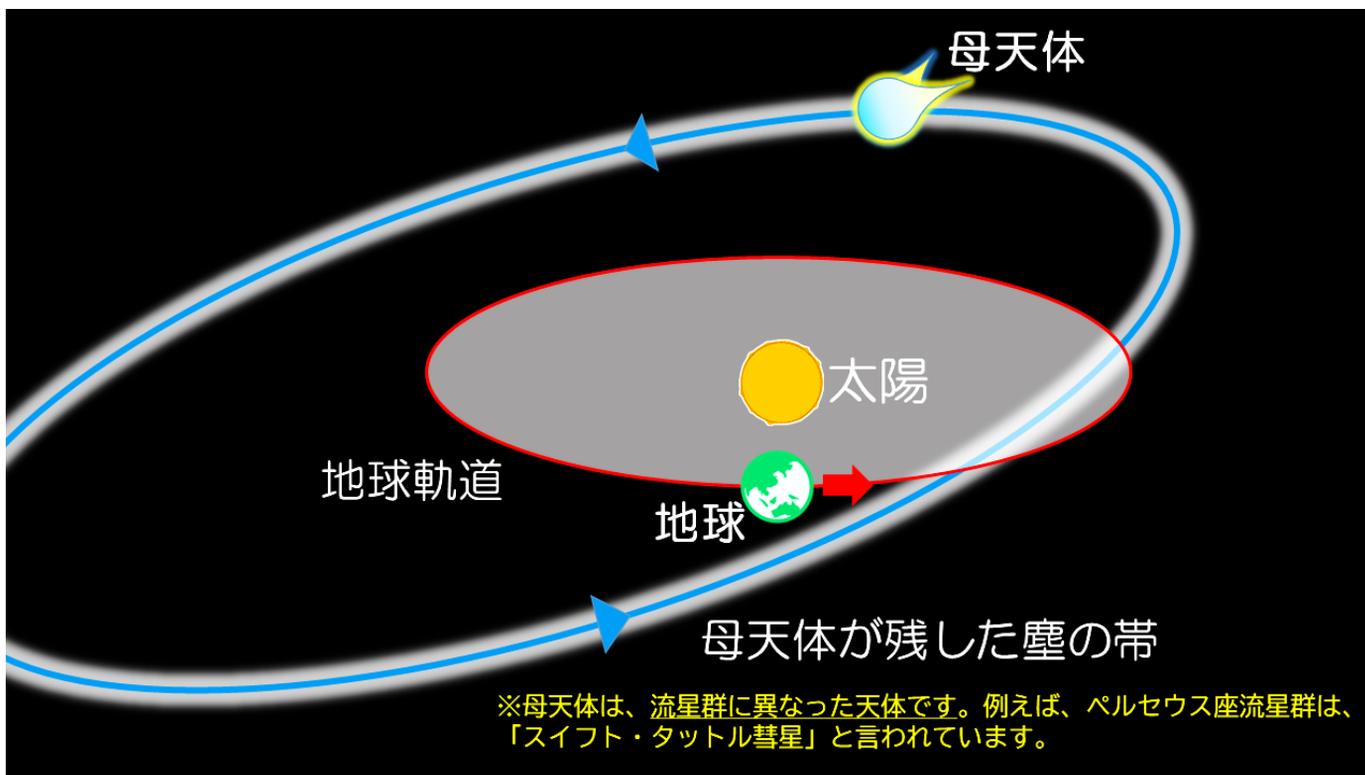


「流星群」を見てみよう★

<流れ星って…！？>

流れ星は、宇宙にある塵(ちり)が高速で地球の大気とぶつかって光り出す現象です。特に明るい流れ星は”火球(かきゅう)”と呼ばれます。そして、大きな火球になると燃えつきずに地上に落ちてくることがあります。これが「隕石(いんせき)」です。



※母天体は、流星群に異なった天体です。例えば、ペルセウス座流星群は、「スィフト・タートル彗星」と言われています。

<流れ星のもと”塵(ちり)”はどこからくるの！？>

流れ星は宇宙の塵(ちり)だと言いましたが、いったいどこからやってくるのでしょうか？実は、流星群には塵(ちり)を運んでくる”彗星(すいせい)(ほうき星)”と呼ばれる星が存在します。この彗星が通った後にはたくさんの塵がばらまかれています。そこに、私たちの暮らす地球が飛び込んでいくと一度にたくさんの塵(ちり)が地球の大気に入って来るためにたくさんの流れ星、つまり流星群となって見えるというわけです。

<観察のポイント>

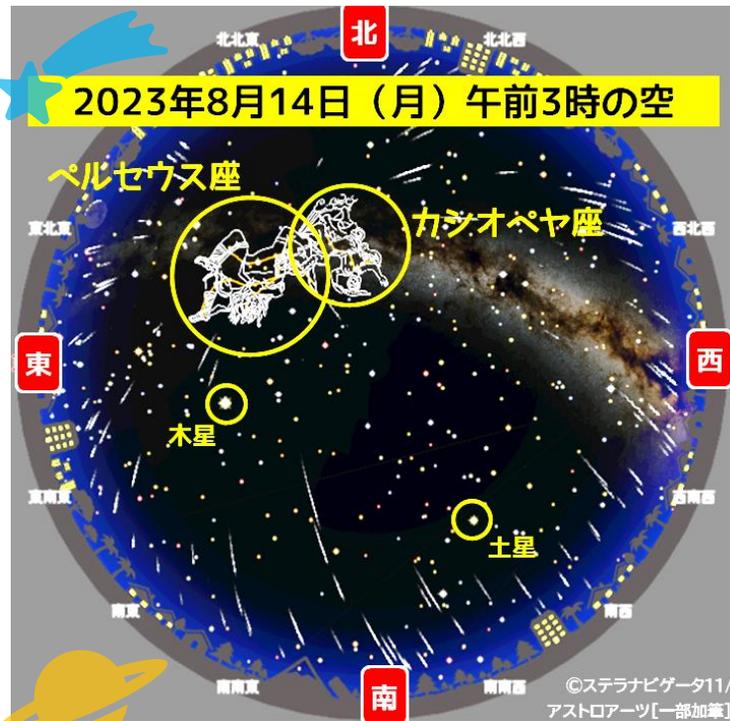
- ◆あきらめずに決めた場所をじっくり観察しましょう！
 - ◆肉眼で一方向を観察しましょう！
 - ◆できれば街灯かりの少ない場所を選んで観察しましょう！
- ※小・中・高校生のみなさんは必ず大人の人と一緒に出かけましょう。

空を見上げてみよう!プロジェクトin宮崎

「ペルセウス座流星群」を見よう★

8月12日(土)から14日(月)頃にかけて、毎年たくさんの流れ星を見せてくれる「ペルセウス座流星群」がやってきます。「しぶんぎ座流星群」や「ふたご座流星群」と共に三大流星群の一つとしても有名です。

今年のペルセウス座流星群は、月明かりの影響もなく最高の条件で観察できそうです。13日(日)の17時が、流星群のピークですので、13日(日)の夜中から14日(月)の明け方にかけて流れ星が多く出現しそうです。



みんなで空を見上げて
SNSでつぶやこう!
ハッシュタグは…

#空プロ宮崎
#宮崎科学技術館



上図は14日(月)午前3時の星空です。“東”にペルセウス座が輝いています。明るく輝く木星を目印に北方向に目線移していくと「カシオペア座」のアルファベットの“W”の星の並びを見つけられます。その周辺に輝く漢字の“人(ひと)”に似た星並びがペルセウス座の目印です。少し明るく輝く”ミルファク”の近くに、ペルセウス座流星群の「放射点」があります。

流星群の流星は、放射点を中心に放射状に出現します。つまり、夜空のどこにでも流星は出現します。でも、周りをキョロキョロしてしまうと流星を見逃してしまいます。1つの場所を決めたら、根気強く1点を眺めてくださいね!

さあ、夏の夜空に願い事をしに出かけてみませんか!? レッツゴー♪

宮崎市内の星空スポット



①高岡町 瓜田ダム



②青島(白浜)



③堀切峠



④平和台公園

マナーを守って、
利用しよう!

~メモ~

